

教職課程を有する研究科で養成する教員像

【人文科学研究科】

人文科学研究科では、人文系の学問分野における高度な専門性と幅広い教養を備え、それを教育に活かせる教員を養成する。特に、以下のような教員の育成を目指す。

1. 物事を深く考察する基礎となる幅広い教養と高度なリテラシー能力を持つ教員
2. 社会事象やテキスト等の対象を正確に分析・理解し、疑問に対して粘り強く考える知的体力や知的柔軟性を持つ教員
3. 修得した専門的知識と鋭い洞察に基づいて、社会や言語を学ぶことの面白さや奥深さを、明快かつ分かりやすい言葉で生徒に伝えられる教員

【教育学研究科】

近年の科学技術の著しい発展と、それに伴う社会生活の急激な変化のなかで、次代を担う子どもたちの発達と教育の課題が重要な社会的問題となっている。特に、就学前、初等教育及び中等教育（特別支援教育を含む）の各学校教育の中核となる教員の資質・能力の向上が強く求められている。本研究科は、学校現場での様々な教育課題や地域社会の教育的ニーズに関する情報を的確に受け止め、これらを教育研究の中に反映し、高い資質を持った教員の養成とともに、地域社会の教育文化の発展に貢献できる人材の育成をめざし、次の目的を設定している。

1. 学校及び地域における教育課題に応じて、高い資質を有する学校教員及び地域社会の教育文化に貢献できる人材を育成する。
2. 学校及び地域社会の研究拠点として、関連諸科学と連携した統合的な教育文化の発展に貢献する。
3. 学術・教育・文化の交流拠点として、教育資源を広く地域に向けて開放し、地域社会の発展に寄与する。

学校臨床心理学専攻

平成27年12月の中央教育審議会答申「チームとしての学校のあり方と今後の改善方策について」では、「校長のリーダーシップのもと、学校のマネジメントを強化し、組織として教育活動に取り組む体制を創り上げるとともに、必要な指導體制を整備することが必要である。その上で、生徒指導や特別支援教育等を充実していくために、学校や教員が心理や福祉等の専門家（専門スタッフ）や専門機関と連携・分担する体制を整備し、学校の機能を強化していくことが重要である。」とされ、「チームとしての学校」の体制を整備することが求められている。

本専攻は、学校臨床心理学的立場から、「チーム学校」を支える人材の育成を目指す。すな

わち、多様化する児童・生徒の特性・多様性、家族機能の低下、地域全体が持つ児童・生徒への「育成機能」の低下等の現代的課題に起因する児童・生徒のさまざまな問題行動に適切に対応することのできる、心理学的な専門性を有する教員およびスクールカウンセラー等の心理学の専門家の養成を目指す。

教職実践高度化専攻（教職大学院）

本専攻には、現職教員対象でミドルリーダーの養成を目的とした「学校経営コース」、主に学卒者を対象とした即戦力となる若手教員（スーパールーキー）の養成を目的とした「教育実践開発コース」、学校及び地域における特別支援教育の分野におけるマネジメントリーダー若しくは教育実践ニューリーダーの養成を目的とした「特別支援教育コース」の3つの履修コースが開設される。それぞれのコースで以下のような教員の養成を目指している。

- 「学校経営コース」（現職教員対象）：学校経営専門職や教育行政専門職を担い得る人材
 1. 学校組織の安全かつ効率的・効果的な運営について、分析・評価を行い、新たな対策や企画を提案することができる（学校マネジメント）。
 2. 学校現場の諸活動の改善について、分析・評価を行い、あらたな対策や企画を提案することができる（教職リーダーシップ）。
 3. 地域社会との連携の重要性を理解し、その推進のための方策や企画を提案することができる（コミュニティ・スクール形成能力）
 4. 研修等、学校支援に係る活動を企画することができる（学校支援力）。
- 「教育実践開発コース」（主に学部卒者対象）：即戦力として活躍できる高度な授業実践力と展開力を持ち、新しい学校づくりの担い手となり得る新人教員
 1. 学校現場において、即戦力としての実践的な授業を立案し、実行することができる（実践的授業力）。
 2. 絶えず実践を省察し、実践研究を推進することができる（自己省察力、実践研究開発力）。
- 「特別支援教育コース」

現職教員院生：

公立小・中学校の通常学級に一定の割合で在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒や、特別支援学級に在籍する児童生徒に対し、高度な授業実践力や学校マネジメント力を基盤に、学校経営専門職や教育行政専門職、地域コーディネーター等を担い得る人材の育成

1. 学校組織の安全かつ効率的・効果的な運営について、分析・評価を行い、特別支援教育に関わる新たな対策や企画を提案することができる（学校マネジメント）。
2. 特別支援教育に関わる学校現場の諸活動の改善について、分析・評価を行い、新たな対策や企画を提案することができる（教職リーダーシップ）。
3. 地域社会との連携の重要性を理解し、特別支援教育の推進のための方策や企画を提案

することができる（コミュニティ・スクール形成能力）。

4. 特別支援教育に関わる研修等，学校支援に係る活動を企画することができる（学校支援力）。

学部新卒院生：

特別支援教育に関する高度な専門性を備えることにより，公立小・中学校の通常学級に一定の割合で在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒並びに特別支援学校に在籍する児童生徒に対して，即戦力として効果的な指導ができる高度な授業実践力を身につけ，学校現場においては，学級担任のみならず，通級指導担当者，特別支援コーディネーター等として実力を発揮できる新人教員の育成

1. 学校現場において，即戦力としての実践的な支援計画を立案・実行することができ，関係者をコーディネートできる（実践的支援力，指導力）。
2. 絶えず特別支援に関する実践を省察し，支援に関する実践研究を推進することができる（自己省察力，実践研究開発力）。

【経済学研究科】

経済学専攻

経済，公共管理，法律，観光等の領域における専門知識の習得をとおして，高い資質を有する公民科の教員を養成する。具体的には，以下のような能力を有する教員を養成する。

1. 経済学に関する専門知識を習得している
2. 経済政策や社会福祉政策の目的とその効果について理論的に説明できる
3. 日本経済や世界経済で生じている経済問題や経済の動向について説明できる
4. 日本経済や世界経済の歴史について説明できる
5. 地域社会特有の経済社会問題を解決するための政策について理論的に説明できる
6. 政治，公共，法律，観光に関する専門知識を習得している

企業経営専攻

経営学等の領域における専門知識の習得をとおして，高い資質を有する商業科の教員を養成する。具体的には，以下のような能力を有する教員を養成する。

1. 経営学，経営管理論，経営組織論に関する専門知識を習得している
2. 会計学に関する専門知識を習得している
3. 経営情報に関する専門知識を習得している
4. 流通論，マーケティング論に関する専門知識を習得している
5. 保険論に関する専門知識を習得している
6. 企業経営を学ぶために必要な経済学の専門知識を習得している
7. 企業経営を学ぶために必要な法学の専門知識を習得している

【創成科学研究科】

基盤科学系専攻

数理科学・物理学の教育と研究を通して論理的思考を身につけ、確かな科学的理解を基に、柔軟な発想をもって自然科学の様々な分野に積極的に関わることのできる教員を養成する。より具体的には、以下のような能力をもつ人を養成する。

1. 数理事象や自然現象を豊かな感性と論理的な思考に基づき理解することができ、自然科学の魅力や面白さを実践的に伝えることの出来る能力を持つ人。
2. 科学の進歩を自ら学ぶ姿勢を持ち、新しい概念を柔軟に吸収し、自然科学の真理からものごとの有り様を深く考え、課題を解決する能力を持つ人。
3. 習得した基礎的・専門的知識を基に、数理科学や物理学の様々な事柄を分かりやすく解説できる表現力や説明を十分に理解させ得る対話力を持つ人。

地球圏生命物質科学系専攻

生物学・化学・地球科学の教育と研究を通して論理的思考を身につけ、確かな科学的理解を基に、柔軟な発想をもって自然科学の様々な分野に積極的に関わることのできる教員を養成する。より具体的には、以下のような能力をもつ人を養成する。

1. 自然現象を豊かな感性と論理的な思考に基づき理解することができ、自然科学の魅力や面白さを実践的に伝えることの出来る能力を持つ人。
2. 科学の進歩を自ら学ぶ姿勢を持ち、新しい概念を柔軟に吸収し、自然科学の真理からものごとの有り様を深く考え、課題を解決する能力を持つ人。
3. 習得した基礎的・専門的知識を基に、生物学、化学、あるいは地球科学の様々な事柄を分かりやすく解説できる表現力や説明を十分に理解させ得る対話力を持つ人。

農学系専攻

農学分野に関する高度な専門知識と能力を備え、国際感覚を持ち、自立的で人間性豊かな人材を育成するという専攻の設置理念に従い、教員養成においても、農学分野の専門性に立脚した、教科内容に関する高度な知識・技能および教授能力を持った教員を養成することを目的としている。農学の専門分野を幅広く、バランスよく学修することに加え、関連分野の最新の研究成果や技術に触れる機会を提供し、教職に相応しい、真に社会に貢献できる人材となるための学問的基盤をしっかりと与えることに重点を置いている。